

エコマーク 20 周年記念事業について（報告）

財団法人日本環境協会
エコマーク事務局

エコマークは、平成 21 年 2 月に制度開始 20 年を迎えた。エコマーク 20 周年を記念して、

①エコマーク 20 周年記念講演会

②世界エコラベリング・ネットワークの年次総会

を開催する旨を前回第 22 回エコマーク運営委員会で報告したところである。それぞれ 10 月、11 月の開催を予定しているが、現在の段階での計画概要を報告する。また、

③エコマーク 20 年史「ちきゅうにやさしく エコマーク 20 年の歩み」
を、制作したのであわせて報告する。

I. エコマーク 20 周年記念講演会

1989 年 2 月に制度を開始したエコマークは、2009 年 2 月 1 日に 20 周年を迎えた。20 年の節目となる今年、エコマーク 20 周年記念講演会を開催する。

環境分野に詳しい学識者、日本の金融をリードする企業の代表者を迎え、これまでのエコマークの 20 年の歩みを振り返るとともに、企業の環境分野での活動を支援する金融の役割、環境配慮社会への消費者の関わりについて考える。

（開催概要）

○日 時：2009 年 10 月 8 日（木） 14:00～16:30（13:30 開場）

○場 所：東京ウィメンズプラザ（渋谷区神宮前 5-53-67）
地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道」駅下車、徒歩 7 分

○プログラム内容：

講演 1：「環境と金融について～三井住友銀行の事例を通じて～[仮題]」

三井住友フィナンシャルグループ取締役社長 北山 禎介氏

対談： 三井住友フィナンシャルグループ取締役社長 北山 禎介氏

日経エコロジー編集長 神保 重紀氏

講演 2：「これからのエコマークについて[仮題]」

東京大学大学院工学系研究科教授 平尾 雅彦氏

対談： 東京大学大学院工学系研究科教授 平尾 雅彦氏

日経エコロジー編集長 神保 重紀氏

○参加対象者：事業者、自治体、消費者団体

○定員 200 名（先着順）[無料]

II. 世界エコラベリング・ネットワーク GEN の年次総会の日本開催について

1. 2009 世界エコラベリング・ネットワーク年次総会 (GEN AGM) 開催概要

1) 開催趣旨

①環境ラベルに関する国際的な情報発信

アジアを中心として成長著しい海外のタイプ I 環境ラベルを紹介し、海外に事業を展開している事業者へ情報発信する。欧米の環境ラベル機関との情報の共有を行う。

②ステークホルダーへの情報発信

消費者、事業者、自治体、指揮者に国際的なタイプ I 環境ラベルの特徴を認知・理解してもらい、タイプ I 環境ラベルの普及を通じて、環境配慮商品の市場拡大、グリーン購入の促進を図る。

③エコマーク 20 周年

20 周年の節目として、20 年を総括して今後の展望について述べる。

2) 日程

2009 年 11 月 17 日 (火)

- ・ オープニングセレモニー
- ・ シンポジウム
- ・ ワークショップ (ワークショップの第 1 セッションまで一般公開、同時通訳有り)
- ・ レセプションパーティー

2009 年 11 月 18 日 (水) エクスカーション (奈良方面)

2009 年 11 月 19 日 (木) ワークショップのまとめ

3) 会場：神戸ファッションマート

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中 6 丁目 9 番地

TEL 078-857-8000 (代)



4) 参加者について (予定)

- ・ 参加数：約 120 名
- ・ 内訳：GEN 加盟メンバー (50 名)、日本の環境省及び事務局 (20 名)、自治体 (10 名)、エコマーク認定企業 (10 名)、消費者関連 (10 名)、その他 (20 名)

5) 参加者予定と過去の参加者状況

①日本 (今年の参加者予定)

| 所属 | 役職 | 氏名 | 備考 |
|-----------|-------------|--------|--------------|
| 環境省 | 大臣官房審議官 | 三好 信俊 | |
| | 環境経済課課長補佐 | 橋本 一洋 | |
| (財)日本環境協会 | 理事長 | 渡辺 修 | |
| (財)日本環境協会 | 常務理事・GEN 役員 | 山村 尊房 | 他、事務局スタッフ複数名 |
| 兵庫県 | 知事 | 井戸 敏三※ | 他、県庁職員複数名招聘 |
| 神戸市 | 環境関連部署 | | 複数名招聘 |
| エコマーク認定企業 | | | 複数名招聘 |
| 消費者団体など | | | 消費者団体などへ告知 |

※レセプションのみご出席

②中国 (去年の出席者)

| 所属 | 役職 | 氏名 | 備考 |
|---------------|-----|------------------|-------|
| 環境保護部環境認証センター | 理事長 | Mr. Yanping Chen | 他、複数名 |

③韓国 (去年の出席者)

| 所属 | 役職 | 氏名 | 備考 |
|------------|------------------|------------------|----------------------|
| 環境省 | 環境戦略室 環境技術部次長 | Mr. Soo-man Chae | |
| エコプロダクツ振興院 | なし | Mr. Kim Soon-Goo | 環境ラベル認証課研究員 他、複数名 |

④台湾 (去年の出席者)

| 所属 | 役職 | 氏名 | 備考 |
|-----------|-------|-------------------|-------------|
| 環境保護庁 | 事務局長 | Dr. Ning Yu | |
| 環境保護庁 | 事務局次長 | Ms. Shu-Hwei Fang | 他、事務局スタッフ1名 |
| グリーンカウンシル | CEO | Ms. Linda Ho | 認証会社 |

⑤欧州

- ・ドイツ/ブルーエンジェル 環境ラベル基準担当者
- ・EU/EU フラワー EU 環境ラベル本部責任者
- ・ノルディックスワン/役員

⑥北米

- ・アメリカ/グリーンシール Vice President of Marketing and Outreach
- ・カナダ/テラチョイス GEN 事務局担当者

2. 世界エコラベリング・ネットワーク (Global Ecolabelling Network, GEN) について

- ・1994年設立。財団法人日本環境協会（エコマーク事務局）は設立発起団体の一つ。
- ・タイプ I 環境ラベル(※1)運営団体で構成される非営利団体。

2008年7月現在、27組織団体が加盟している。(※2)

※1 タイプ I 環境ラベル：IS014024「環境ラベル及び環境宣言－タイプ I 環境ラベリング－原則及び手順」に準拠した運用で、第三者が『資源の採取から廃棄まで』全ライフサイクルにおける環境影響を一定の基準に基づいて認定する。

※2 27組織団体の概要は、別紙参照。

(設立の目的) 製品やサービスのエコラベリングを改善、促進、および策定

(活動内容) 以下の内容を改善、促進、および策定することによって、メンバー、団体、他のエコラベリング・プログラム／構想、他の利害関係者、および一般市民の支援。

- ・製品やサービスのエコラベル表示
- ・全世界のエコラベリング・プログラムの信頼性
- ・全世界からのエコラベリング基準に関する情報の入手性
- ・メンバー、団体、およびその他のエコラベリング・プログラムの中で、エコラベル表示についての協調、情報交換、および調整を促すこと。
- ・エコラベリング基準に関する情報にアクセスしやすくすること。
- ・国際的な組織に参加してエコラベル表示を推進すること。
- ・より環境に責任を持てる製品やサービスの需要と供給を奨励すること。

(運営体制) 役員7名と、運営事務局(Secretariat)、総務事務局(GAO)の9名で運営。日本は、総務事務局(以下GAO)、監査人(Treasurer)を担当している。

(役員会と総会) 年に2回の役員会(BOD Meeting)と総会(Annual General Meeting、AGM)を開催している。過去のAGMの実施状況は、下表の通り。ヨーロッパ地域、アメリカ地域、アジア地域の持ち回りで開催している。

表 GENのAGMの開催状況

| 年 | 開催場所 | 地域 | 年 | 開催場所 | 地域 |
|------|------------|-------|------|--------------------|-------|
| 1995 | ギリシャ キプロス | ヨーロッパ | 2002 | 台湾 台北&α | アジア |
| 1996 | ブラジル サンパウロ | ヨーロッパ | 2003 | チェコ プラハ | ヨーロッパ |
| 1997 | 日本 東京 | アジア | 2004 | 日本 東京&仙台 | アジア |
| 1998 | ドイツ ベルリン | ヨーロッパ | 2005 | ニュージーランド ウェリントン | オセアニア |
| 1999 | カナダ オタワ | 北米 | 2006 | 韓国 ソウル | アジア |
| 2000 | タイ プーケット | アジア | 2007 | スウェーデン ルンド | ヨーロッパ |
| 2001 | ノルウェー オスロ | ヨーロッパ | 2008 | カナダ オタワ | 北米 |
| | | | 2009 | 日本 神戸 | アジア |

Ⅲ. エコマーク 20 年史「ちきゅうにやさしく エコマーク 20 年の歩み」の制作について

- 趣 旨：エコマークの 20 年の歩みを振り返るとともにエコマークのこれからを考える
- タイトル：「ちきゅうにやさしく エコマーク 20 年の歩み」
- 形 態：紙製の CD-ジャケット(15 ページ冊子付き)と CD-ROM
あわせて HP やエコマークニュースにて掲出を予定。
- 作成数：700 部
- 刊行時期：2009 年 10 月
- 配布先（予定）
 - 10 月 8 日の記念シンポジウム出席者
 - エコマーク関係者（環境省、委員等を含む）
 - 都道府県（環境教育担当者等）
 - 財団法人日本環境協会関係者（環境研究会を含む）、希望者等

6. 構成（案）

1) CD-ジャケット(15 ページ冊子)

P1 目次

P2 ごあいさつ（渡辺環境協会理事長、森島運営委委員長）＜概要＞ [CD-ROM に全文]

P3 エコマーク 20 周年によせて（環境事務次官、GEN 議長）＜概要＞ [CD-ROM に全文]

P4-5 エコマークへの提言～過去・現在そして未来～ ＜概要＞ [CD-ROM に全文]

上山、大沢、乙間、麴谷、神保、辰巳、樋口、平尾、森下、和才の各氏

P6-15 20 年の記録(年表とトピックス)

2) CD-ROM

【本 編】

- ごあいさつ（渡辺環境協会理事長、森島運営委委員長）＜詳細＞
- エコマーク 20 周年によせて（環境事務次官、GEN 議長）＜詳細＞
- エコマークへの提言～過去・現在そして未来～ ＜詳細＞
- 20 年の記録（年表とミニコラム）

【資料編】

規定・ガイドライン

中期活動計画

検討会等の報告書

エコマーク制度の運営体制

商品類型（認定基準）の一覧

エコマーク認定商品の一覧

パンフレット等

エコマークニュース

調査結果

海外のタイプ I ラベル制度



20 周年記念冊子 CD-ROM ジャケットの表紙